



平成 27 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 東 海 運 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 壁 谷 泰 雄
(コード番号：9380 東証第一部)
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長 湯 川 次 郎
(TEL. 03-6221-2203)

特別損失及び特別利益の計上に関するお知らせ

平成 26 年 3 月 24 日に発生しました弊社子会社イースタンマリンシステム株式会社所有セメント専用船「環洋丸（総トン数：4,953 トン）」座礁事故につきましては、関係各所の皆様に多大なるご迷惑及びご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。現在、当社グループにおける安全運航管理全般の取り組みの更なる強化に努めております。

このたび、平成 27 年 3 月期 第 3 四半期において、座礁事故に伴う特別損失及び特別利益を下記のとおり計上することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

座礁現場からの救助作業費用、廃棄処分となる積荷（セメント）の補償、本船を廃船することによる帳簿価額除却損、解体に係る費用及び本船不稼働による代替船手配費用等が発生し、平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計期間までに特別損失「船舶事故に係る損失」1,379 百万円を計上しておりましたが、これら作業に伴う費用が増加したことから、新たに 383 百万円を計上することとしました。これにより、平成 27 年 3 月期 第 3 四半期累計期間の特別損失「船舶事故に係る損失」は 1,762 百万円となります。

2. 特別利益の計上

上記の損害額に対して、イースタンマリンシステム株式会社が付保した保険により求償される保険金を平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計期間までに特別利益「船舶事故に係る保険金収入」1,399 百万円を計上しておりましたが、損害額の増加により、新たに 404 百万円を計上することとしました。これにより、平成 27 年 3 月期 第 3 四半期累計期間の特別利益「船舶事故に係る保険金収入」は 1,803 百万円となります。

3. 今後の見通しについて

本件が当社の業績に与える影響は軽微であり、平成 26 年 7 月 31 日に公表した業績予想通りに推移しており、通期業績予想につきましても概ね予定通り推移すると想定しております。

以上